

# 親子で読んでほしい絵本大賞



今年も「親子で読んでほしい絵本大賞」が、JPIC読書アドバイザー147名の投票で決まりました。選出のコメントは、おはなし会などの現場で実際に子どもたちに向けて絵本を読んでいるアドバイザーならではのものです。ぜひ、参考にしてください。また、編集部が候補作を厳選し、小誌読者のみなさんにも「読者賞」の投票をいただきました。今回は6位が同率となったため、あわせて7作品を発表いたします。

★コメントを寄せていただいた方の敬称略、順不同。 撮影/J・SAKURA

★今日は参観日。まだかなお母さん！お仕事終わらないのかな？間に合うかな？こちらまでドキドキしてしまいます。(5期 朝田幸子)

★授業参観の日は、朝から、そわそわ、ドキドキ。いちばんいいところを見せたいけれど、仕事をしているお母さん、ちゃんと間に合うように来てくれるのかなあ。そんなげんきくんの気持ち、共感できるなあ。(7期 藤村由美)

★大忙しのお母さん、作文を読み終わるまでに間に合ってくれるでしょうか？チャーミングなお母さんを、ほくと一緒に応援します！(7期 渡辺裕己子)

★親子で読んで、笑って、ほっこりする絵本。いつの間にか親として参加するようになった、授業参観。仕事を調整して向かう、特別な時間。そういえば、子どものときもそれは特別な時間だった思い出しました。(15期 坂口慶)

★げんきくんはお仕事でも家でもがんばるお母さんに作文を聞いてもらいたい！教室に向かって走るお母さん、ゆっくり読むげんきくん、ハラハラして聞いている友だちと参観者、絵本を読む私の気持ちもひとつになります。(15期 渡部陽子)

★お母さんのエピソードトークを、盛り上げながら、なおかつ到着まで間をもたせる腕に脱帽！(17期 藤田由希子)

★授業参観で、お母さんを待つ男の子、そして職場から駆けつけるお母さんに、親子で共感できます。また、授業参観に来ている保護者の絵が、性別、年代、服装がいろいろなのも今どきです。きだと思いました。(19期 佐藤真紀)

★美容師の仕事もおうちのこともがんばってるお母さんが大好きなんだね。子どもの気持ちが伝わってきます。(24期 くまちゃん)

★働いているお母さんにとってうれしい絵本です。仕事と家事の大変さがリアルによく伝わります。しっかりお母さんのことをわかっている作文を、げんきくんが読んでくれます。仕事を終えやつのことで間に合い、私もホッとしました。(22期 中野玲子)

★お母さんが大好きで尊敬していることが、ユーモラスに伝わってきます。子どもって、親をよく見ていますよね。忙しいお母さんを授業参観で待ち焦がれる気持ちと思いやる気持ち、両方感じられる作品です。(26期 瀧澤有希子)

★参観日に作文を読むげんきくん。お母さんは、仕事から学校に向かうまっ最中。子どもって、お母さんのことよく見てる。そして、大好きでいてくれる。お母さんが教室についたときのげんきくんの表情がとってもいいのです。(27期 若林やよい)

## 親子で読んでほしい絵本大賞とは

親子でもっと絵本を楽しんでほしい！いい絵本を親子に届けたい！との思いを込めて、JPIC読書アドバイザークラブ(JRAC)により創設されました。選出方法:JRAC会員60名からなる選考委員が、「この本 読んで!」2024年春号~冬号の4号で紹介された新刊絵本400冊の中から候補作16作品を選出。それを、JRAC会員有志が読み、16作品の中から1~3位とベビー賞を選んで投票しました。

※JPIC読書アドバイザークラブについての詳しい説明は、P51下部に記載しています。



# 美しい絵本大賞 発表



『ぼくのおかあさん』  
2ねん1くみすぎしたげんき

文/川之上英子、川之上 健 絵/大島妙子  
1,650円(アリス館)



### 連動フェア実施!

この特集で紹介した絵本のコーナーが以下の書店に設けられます。くわしくは下記まで  
ブックハウスカフェ(東京都千代田区)  
03-6261-6177  
にここ書店(東京都新宿区)  
03-3565-6232  
こどもの本のお店ともたち(神奈川県横浜市)  
045-561-5815